

野神

雜載

名稱

〔古今和歌集〕題まらず

かすがの、とぶひののもり出て見よいまいくか有て若なつみてん

よみ人しらす

〔古事記上〕次生野神名鹿屋野比賣神亦名謂野椎神註此大山津見神野椎神二神因山野持別而

生神名天之狹土神訓土云豆知下效此

〔塵袋飲食〕一年始ニハ人ゴト餅ヲ賞翫スルハ何ノ心カアル餅ハ福ノモノナレバ祝ニ用フル歟

昔豊後ノ國球珠郡ニヒロキ野ノアル所ニ大分郡ニスム人ソノ野ニキタリテ家ツクリ田ツクリテスミケリアリツキテ家トミタノシカリケリ酒ノミアソビケルニトリアヘズ弓ヲイケルニマトノナカリケルニヤ餅ヲク、リテ的ニシテイケルホドニソノ餅白鳥ニナリテトビサリニケリソレヨリ後次第ニオトロヘテマドヒウセニケリアトハムナシキ野ニナリタリケルヲ天平年中速見郡ニスミケル訓邇ト云ケル人サシモヨクニギワヒタリシ所アセニケルヲアタラシトヤ思ヒケン又コ、ニワタリテ田ヲツクリタリケルホドニソノ苗ミナカレウセケレバオドロキヲソレテ又モツクラズステニケリト云ヘル事アリ餅ハ福ノ源ナレバ福神サリニケル故ニオトロヘケルニコソ、

〔慕景集〕勝元朝臣短慮不成功といふ昌黎の作し詞など消息のはしに書付てこのこゝろばへを

問ひ給ひしかば、

いそがすばぬれざらましを旅人の跡よりはる、野路の村雨

〔附原

原ハ、ハラト云フ廣平ノ義地形ノ曠遠ナル處ヲ謂フナリ又常ニ野原ト連呼ス宜シク野篇

ヲ参照スベシ、

〔倭名類聚抄林野〕原 毛詩云高平曰原音源和名八良